

# 平成29年度

## 主要な施策の成果

### <まちづくりの目標>

健康でやすらぐまち

生涯にわたる学びのまち

思いやりとふれあいのまち

(保健福祉部・こども未来部 関係部分 抜粋)

## 政策 2-1 健康に暮らせるまちづくり

### 施策 2-1-1 保健予防の推進

#### (1) 健康づくりの推進

##### ○保健福祉センター利用状況

区 分	保健	子育て	障害	高齢	一般	市機関	合計
利用件数(件)	498	901	479	18	41	47	1,984
利用者数(人)	10,689	24,415	9,314	670	1,305	1,711	48,104

##### ○上記以外(各種相談)利用者数(人)

母性相談	栄養相談	健康相談	子育て 支援総合 センター	障害者 生活支援 センター	ことばの 教室	合計
2,097	40	220	1,162	57	2,749	6,325

##### ○健康教育

###### ・実施状況

区 分	婦人会	老人クラブ	町内会	企業・サークル	その他	合計
実施回数(回)	9	19	9	79	62	178
受講者数(人)	149	554	187	1,672	2,315	4,877

###### ・健康づくり講座

健康づくり教室 実施回数 12回 参加者数 159人

からだスッキリ講座 実施回数 24回 参加者数 764人

・糖尿病予防講座 実施回数 10回 参加者数 80人

・リラクゼーション事業 実施回数 139回 利用者数 1,691人

・帯広市特定健診の結果、糖尿病が重症化するリスクの高い人に訪問や保健指導を行った。

実施者数 80人

##### ○健康相談

・実施回数 面接 94回 利用者数 面接 200人

電話 190回 電話 450人

##### ○自殺対策事業

・多分野合同研修会 実施回数 2回 参加者数 77人

・ゲートキーパー研修会 実施回数 7回 参加者数 456人

・管理職研修 実施回数 3回 参加者数 214人

・SOSの出し方講座 実施回数 1回 参加者数 44人

・自殺対策計画の策定

##### ○がん検診・健康診査

・20歳・40歳女性へそれぞれ子宮頸がん・乳がん検診無料クーポンの配布を行った。

・実施状況

区 分		検診日数	受診者数
胃 がん 検 診	集 団	96 日	4,787 人
子 宮 がん 検 診	集 団	14 日	1,163 人
	施 設	12 ヲ月	3,853 人
乳 がん 検 診	集 団	20 日	1,593 人
	施 設	12 ヲ月	1,719 人
前 立 腺 がん 検 診	集 団	92 日	2,086 人
	施 設	12 ヲ月	1,250 人
肺 がん 検 診	集 団	96 日	6,173 人
大 腸 がん 検 診	集 団	113 日	5,790 人
	施 設	12 ヲ月	4,284 人
健 康 診 査	集 団	94 日	39 人
	施 設	12 ヲ月	160 人
肝 炎 検 査	集 団	94 日	616 人
	施 設	12 ヲ月	214 人
市 民 健 康 診 査	集 団	94 日	104 人
	施 設	12 ヲ月	51 人
骨 粗 しょう 症 検 診	施 設	12 ヲ月	125 人

・35～39歳健診・市民検診・健康診査保健指導（初回支援実施分）

積極的支援	利用者数	1人
動機付け支援	利用者数	3人

・子宮頸がんワクチン予防接種実施状況

子宮頸がん予防ワクチン	接種者数	3人
-------------	------	----

・小規模事業所及び生活保護受給者に対し、がん検診等の周知啓発を実施した。

・ピロリ菌尿中抗体検査実施状況

市内に居住する中学3年生のうち希望者に対し実施 受検者数 913人

○訪問保健指導

・訪問指導実施状況

区分	健康診査の 要指導者等	閉じこもり 予 防	介護家族者	寝たきり者	認知症老人	その他	合 計
実訪問者数(人)	77	1	0	0	0	13	91
延訪問者数(人)	92	1	0	0	0	30	123

○健康都市おびひろの魅力発信

・健康都市連合日本支部総会への参加

網走市で開催された健康都市連合日本支部総会に参加し、帯広市の健康づくり事業や「オビロビ」の紹介などを行った。

・第32回おびひろ健康まつりの実施

開催日 9月3日 参加者数 1,221人

・スマートライフプロジェクトの推進

「健康寿命をのばしましょう。」をスローガンに運動、食生活、禁煙の3分野について具体的なアクションの呼びかけを行うスマートライフプロジェクトを推進した。

〔実施結果〕

平成29年度までの総登録数 57企業・団体  
健康機器貸出

歩数計 30企業・団体 370個

出前健康講座、健康づくり教室（企業）

出前健康講座 26社 883人

健康づくり教室（企業） 1社 13人

健康づくりPR映像による情報発信

企業、団体への出前講座や、健康づくり事業などで啓発に活用

・健康づくり連携プロジェクトの推進

企業と連携した健康づくり講座の開催

企業と連携した野菜摂取推進の啓発

○身体障害者体力向上事業

・実施回数 243回 実参加者数 93人 延参加者数 4,555人

○公衆浴場活性化推進事業

・浴場経営の安定化と、公衆衛生の維持増進に寄与することを目的とし、「ふれあい銭湯の日」を実施する公衆浴場に対し補助を行った。

実施浴場 子どもの日 12施設 高齢者の日 11施設

【保健福祉部 健康推進課】

## （２）感染症対策の推進

○予防接種

・実施状況

区分	四種混合	二種混合	不活化ポリオ	麻疹・風疹混合	水痘	ヒブ	小児用肺炎球菌	日本脳炎	B型肝炎
接種者数(人)	5,103	1,022	114	2,534	2,261	4,995	4,983	6,245	3,748

※四種混合（ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ）、二種混合（ジフテリア・破傷風）

○結核予防

・検診実施状況

区分	BCG接種	間接撮影
受診者数(人)	1,262	6,338

○感染症予防

・インフルエンザ予防接種実施状況

インフルエンザ対策として、受験生への補助及び65歳以上の高齢者への一部費用助成を行った。

中学校3年生・高校3年生 接種者数 947人

高齢者（65歳以上） 接種者数 19,551人

・成人用肺炎球菌ワクチン接種実施状況

肺炎感染や症状の重篤化を予防するため、65歳以上（5歳刻み）及び60歳以上65歳未満の特定疾患のある人を対象に成人用肺炎球菌ワクチン接種の一部費用助成を行った。

接種者数 3,981人

・エキノコックス症検査実施状況

区 分	一 般	中学生以下
血清検査受診者数(人)	82	4

【保健福祉部 健康推進課】

## 施策 2-1-2 医療体制の充実

### (1) 地域医療体制の充実

○看護師等養成機関確保対策

- ・看護師養成機関への補助 3件

○潜在看護師の就職支援

- ・「潜在看護師研修会」の実施

○帯広厚生病院運営費補助事業

- ・公的病院への特別交付税措置を活用し、帯広市70%、管内18町村30%の負担割合で不採算医療部門の収支不足額（上限2億2,800万円）を補助

【保健福祉部 健康推進課】

### (2) 救急医療体制の充実

○休日、夜間における急病診療体制

・一次救急

区 分	内 容	患者数 (人)		
		市民	市民以外	合 計
休日夜間急病センター	夜間 午後 9:00～翌午前 8:00	4,869	1,938	6,807
在宅当番医制	夜間 午後 7:00～ 午後 9:00	4,197	1,615	5,812
在宅当番医制及び休日夜間急病センター	休日 日曜 午前 9:00～ 午後 5:00	7,110	4,390	11,500
休日歯科在宅診療	休日 日曜 午前 9:00～ 午後 4:00	317	252	569
合 計		16,493	8,195	24,688

・二次救急

区 分	厚生病院	協会病院	第一病院	合 計
待機日数 (日)	188	132	116	436
患者数 (人)	1,860	781	479	3,120

※患者数は市民のみ

・二次救急協力医療機関

区 分	開西病院	協立病院	北斗病院	合 計
待機日数 (日)	26	25	194	245
患者数 (人)	55	38	631	724

※患者数は市民のみ

- ・休日、夜間における一次救急医療機関の案内

急病テレホンセンター案内状況

音声テープ案内（件）	職員対応（件）	合計（件）
3,782	4,543	8,325

※職員対応の件数は市民のみ

- ・二次救急医療体制の充実のため、二次救急医療を担う3病院及び協力病院との連携を図った。

【保健福祉部 健康推進課】

## 政策2-2 やすらぎのあるまちづくり

### 施策2-2-1 地域福祉の推進

#### (1) 地域福祉活動の充実

##### ○地域福祉活動支援

- ・地域福祉事業の中心的役割を担う社会福祉協議会を支援し、地域福祉活動の推進を図った。
- ・地域での交流活動の支援などにより、支え合う地域福祉活動を促進した。

地域交流サロン参加者数 21,227人

##### ○民生委員・児童委員活動

- ・民生委員・児童委員活動を支援し、地域における相談活動の充実を図った。

##### ○成年後見制度利用支援事業

- ・本人に代わり契約や財産管理を行う成年後見制度の利用を支援したほか、帯広市成年後見支援センター「みまもーる」において市民後見人養成講座を開催するなど、高齢者等の権利擁護を図った。

##### ○グリーンプラザ管理運営

- ・福祉団体等の活動拠点であるグリーンプラザを管理運営し、地域福祉活動の促進を図った。

グリーンプラザ利用状況

区分	高齢者	障害者	地域福祉	一般	公的	合計
利用件数（件）	4,041	0	4,296	105	409	8,851
利用人数（人）	80,892	0	33,977	1,683	9,155	125,707

##### ○地域福祉推進事業

- ・きづきネットワーク事業

困難ケース対応件数 322件（延件数 556件）

【保健福祉部 社会課・高齢者福祉課】

#### (2) ボランティア活動の促進

##### ○ボランティア育成

- ・ボランティアの養成や活動を支援し、活動の促進を図った。

ボランティアセンター登録者数 4,028人

【保健福祉部 社会課】

### (3) 保健・福祉・医療の連携推進

#### ○健康生活支援審議会

・健康生活支援審議会の運営を通して、地域福祉計画に基づき、保健・福祉・医療に関する施策を総合的に推進した。

【保健福祉部 社会課】

### (4) 社会福祉活動の充実

#### ○経済対策臨時福祉給付金給付事業

・平成26年4月の消費税率引上げによる影響を緩和するため、所得の少ない方に対し、暫定的・臨時的な措置として、一人当たり1万5千円を給付した。

支給者数 31,864人

【保健福祉部 社会課】

## 施策2-2-2 高齢者福祉の推進

### (1) 高齢者の生きがづくり

#### ○高齢者おでかけサポートバス事業

・対象者数 36,439人

・交付者数 21,027人

#### ○高齢者いきいき元気事業

・高齢者の交流と介護予防や趣味などのサークル活動の場を提供するため、平成28年12月に高齢者いきいきふれあい館「まちなか」を開設した。

#### ○老人クラブ等活動支援

・老人クラブ育成 対象クラブ数 140団体 6,992人

・老人専用バスの貸出 利用回数 77回 1,841人

・高齢者スポーツ大会の開催 参加者数 494人

#### ○敬老祝金支給

・祝金支給人数 88歳 766人

・祝品贈呈人数 100歳 34人

【保健福祉部 高齢者福祉課】

### (2) 介護予防の推進

#### ○一般介護予防事業

・介護予防普及啓発事業（げんき活動コース）

介護予防に関する知識や実践の普及啓発を行う介護予防教室を実施した。

実施回数 580回 参加延人数 6,605人

・地域介護予防活動支援事業（活動継続コース）

高齢者団体や個人の介護予防活動の活性化及び継続につながる支援を目的に、自主活動団体へ活動支援者を派遣した。

実施回数 38回 参加延人数 614人

・地域リハビリテーション活動支援事業（リハビリ専門職派遣事業）

高齢者団体及びげんき活動コースへリハビリ専門職を派遣した。

自主活動団体への派遣 実施回数 35回 参加延人数 507人

げんき活動コースへの派遣 実施回数 144回 参加延人数 1,785人

○介護予防・生活支援サービス事業

- ・帯広市独自の緩和した基準及び住民主体のサービスを含む介護予防・生活支援サービス事業について、出前講座やリーフレットにより、事業者・市民へ周知を行った。

【保健福祉部 高齢者福祉課・介護保険課】

**(3) 在宅サービスの充実**

○高齢者在宅サービス支援

- ・ねたきり高齢者等寝具類クリーニングサービス

利用実回数 154件 利用実人数 97人

- ・ねたきり高齢者等理美容サービス 利用実回数 388件 利用実人数 106人

- ・高齢者在宅生活援助サービス 利用実回数 310件 利用実人数 66人

○高齢者在宅生活支援事業

- ・家族介護者リフレッシュ事業

実施回数 8回（日帰り温泉：4回 食事会等：4回） 参加実人数 103人

○家族介護用品支給事業

- ・利用実人数 162人

○生活支援サービス体制整備事業

- ・地域における互助の仕組みを充実させるため、生活支援サービスの体制整備に関する協議体を設置し、8日常生活圏域のうち4圏域に第2層生活支援コーディネーターとなる地域支え合い推進員を4人配置した。

○地域包括支援総合センター運営

- ・地域包括支援センターサテライト相談窓口を南圏域に開設した。
- ・相談業務の充実のため、各地域生活支援センター職員を1人増員した。

【保健福祉部 高齢者福祉課】

**(4) 施設サービスの充実**

○老人福祉施設整備補助事業

- ・建設費・増改築費償還補助 12事業所

【保健福祉部 高齢者福祉課】

○介護老人保健施設整備補助事業

- ・建設費・設備費償還補助 1事業所

【保健福祉部 健康推進課】

○地域介護・福祉空間整備事業

- ・小規模特別養護老人ホーム、小規模多機能型居宅介護事業所、認知症高齢者グループホームに対する施設整備を補助 4事業所

- ・高齢者施設等の防災・防犯対策の強化を図るため、スプリンクラー、防犯カメラ、非常通報装置等の導入を補助 4事業所

- ・共生型地域福祉拠点整備・促進事業 1事業所

【保健福祉部 高齢者福祉課】



## (5) 地域で支える仕組みづくり

### ○高齢者相談支援

- ・ひとり暮らし登録者数 2, 207人
- ・寝たきり・認知症登録者数 147人

### ○ひとり暮らし高齢者緊急通報システム事業

- ・設置台数 706台（固定型449台、モバイル型257台）

### ○高齢者在宅生活支援（ひとり暮らし高齢者訪問活動事業）

- ・利用実人数 677人

### ○高齢者虐待防止ネットワーク事業

- ・虐待通報件数 53件（うち虐待の認定件数 17件）
- ・帯広市高齢者虐待防止研修会開催 出席者 184人

### ○高齢者総合相談事業

- ・総合相談窓口を設置し、高齢者や家族に対する総合的な支援を行った。  
総合相談窓口、保健福祉センター相談窓口受理件数 36, 106件

### ○高齢者保健福祉計画推進業務

- ・帯広市健康生活支援審議会高齢者支援部会を開催し、高齢者福祉に関する施策を総合的に推進した。

### ○認知症高齢者見守り事業

- ・認知症サポーター養成講座 実施回数 62回 参加延人数 2, 001人
- ・出前講座 実施回数 38回 参加延人数 1, 524人
- ・認知症家族の集い・茶話会 実施回数 24回 参加延人数 149人
- ・徘徊高齢者等SOSネットワーク利用数 利用件数 40件
- ・認知症初期集中支援推進事業 対象者数 18人
- ・認知症カフェ開催 13か所（うち新規登録5か所）

### ○高齢者在宅生活支援（食の自立支援事業）

- ・総配食数 91, 695食 利用実人数 616人

【保健福祉部 高齢者福祉課】

## 施策2-2-3 障害者福祉の推進

### (1) 障害者理解の促進

#### ○障害者理解促進

- ・ノーマライゼーションエリア推進事業

推進地区に指定している大正地区、大空・南の森地区、東部地区、西帯広地区において、ノーマライゼーション理念の普及啓発をはじめ、ふれあい交流事業や研修事業等各種事業を行った。

- ・手話言語条例推進事業

手話が言語であるとの認識に基づき、手話の出前講座や市のホームページ等による市民向け周知・啓発、市職員への手話研修を行い、手話やろう者への理解を深めた。

- ・障害者差別解消の推進

障害者差別解消支援地域協議会の機能を持った組織として帯広市地域自立支援協議会に設置した「差別解消部会」において、相談への迅速かつ適切な対応、紛争解決に向けた対応力の向上のため、差別に関する相談事例等について情報の共有化を図った。

- ・ 障害者意識啓発活動

帯広駅内公共スペースの「福祉のひろば」と保健福祉センターを活用し、障害者が作成した作品等の展示・即売会や福祉機器の展示会を開催することにより、障害者の交流の機会を拡大するとともに、障害者への理解を深めた。

- 障害者虐待防止事業

- ・ 障害者虐待防止センター事業

虐待防止マニュアル・リーフレット配布

虐待通報の受付窓口

虐待通報・相談件数 30件（うち虐待の認定件数 4件）

【保健福祉部 障害福祉課】

## （２）日常生活支援の充実

- 障害者自立支援給付

・ 介護給付・訓練等給付	延利用者数	28,810人
・ 計画相談支援	利用者数	1,507人
・ 障害者自立支援医療費		
自立支援医療（精神通院）受給者証交付状況	交付者数	3,136人
更生医療の給付	受給者数	578人
（うち生活保護受給者の人工透析	利用者数	67人）
・ 障害者補装具	交付・修理件数	545件

- 重度心身障害者医療給付

・ 対象者数	3,548人
・ 助成件数	73,979件

- 特別障害者手当等支給

受給者数 197人

- 障害者福祉サービス

・ 福祉団体バス運行事業	福祉団体利用分	42件
・ 精神障害回復者通所施設交通費助成	利用者数	91人
・ 心身障害者（児）通所施設等交通費助成	利用者数	557人
・ 重度障害者等移動制約者タクシー料金助成	利用者数	2,639人
・ 在宅重度身体障害者緊急通報システム	設置数	34台
・ 重度心身障害者理美容サービス	延利用者数	128人
・ 重度心身障害者クリーニングサービス	延利用者数	61人

- 障害者日常生活用具給付

883件

- 障害者相談支援

・ 基幹相談支援センター		1カ所
・ 委託相談支援事業所		5カ所
・ 相談体制 総合相談員等	10人	相談件数 16,220件
・ 帯広市地域自立支援協議会		開催回数 12回

- 各種手帳の交付

・ 身体障害者手帳交付状況	交付者数	7,410人
・ 療育手帳交付状況	交付者数	1,930人
・ 精神障害者保健福祉手帳交付状況	交付者数	1,626人

○障害者コミュニケーション支援

・手話奉仕員養成講座（昼、夜の部）	各40回開催	延参加者数	1,740人
・要約筆記奉仕員養成講座	13回開催	延参加者数	108人
・視覚障害者ボランティア養成講座	8回開催	参加者数	10人
・手話通訳者派遣		派遣件数	515件
・要約筆記通訳者派遣		派遣件数	52件

【保健福祉部 障害福祉課】

**(3) 自立した地域生活への支援の充実**

○障害者社会参加促進

・回復者クラブ活動事業補助			4件
・かっぱ水泳教室			
帯広の森市民プール	5月10日～7月26日（毎週水曜日）		
	12回開催	延参加者数	201人
・フロアカーリング教室			
帯広の森体育館	2月17日	参加者数	26人
・障害者職場体験実習			

障害者の就労体験の場を確保するとともに、就労意欲の向上や一般企業への実習受入れを促進するため、市内の就労移行支援事業所等を利用している障害のある方を対象として、市役所内各部署で職場体験実習を行った。

参加者数	13人（5事業所）
受入部署数	5課
実習後就職者数	2人

- ・第7回日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会北海道帯広大会の開催  
脳損傷の人々の地域における主体的な暮らしの実現及びどのように改善するか等に関して、学術研究、知識、技術の向上を目的にすべての人々が双方向に学びあい、共に生きるコミュニティの発展に寄与することを目的とした大会の開催を補助した。

参加者数	298人
------	------

○障害者地域生活支援事業

・在宅身体障害者各種創作活動等の教室（4教室）	開催回数	128回
	延参加者数	1,541人
・障害者生活支援センター事業（在宅障害者講座など）	開催回数	10回
	延参加者数	342人

○地域生活支援給付事業

・移動支援、日中一時支援、訪問入浴サービスの提供により、障害のある人の地域における自立した生活を支援した。

移動支援	延利用者数	528人
日中一時支援	延利用者数	958人
訪問入浴サービス	延利用者数	175人

○地域活動支援センター

9カ所

○地域移行支援事業

- ・地域支え合い体制づくり拠点事業
- ・中途視覚障害者リハビリテーション事業
- ・身体障害者送迎事業
- ・福祉ホーム運営費補助

サポーター登録者数 117人  
 延利用者数 45人  
 延利用者数 3,446人  
 1件

【保健福祉部 障害福祉課】

**施策 2-2-4 社会保障の推進**

**(1) 介護保険制度の健全な運営**

○被保険者数（平成30年3月末現在）

世帯数				被保険者数			
総世帯数 (世帯)	第1号被保 険者世帯数 (世帯)	第1号被保 険者世帯数 対前年比	総世帯数に 占める第1 号被保険世 帯数の割合	総人口 (人)	第1号被保 険者数 (人)	第1号被保 険者数対前 年比	総人口に占 める第1号 被保険者数 の割合
87,034	33,745	102.2%	38.8%	166,867	46,948	102.3%	28.1%

○要介護認定状況（平成30年3月末現在）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号 被保険者 (人)	1,479	1,486	2,376	1,411	1,022	926	768	9,468
第2号 被保険者 (人)	19	26	48	40	25	17	20	195
総数(人)	1,498	1,512	2,424	1,451	1,047	943	788	9,663

○サービスの利用状況（延人数）

区分	居宅介護 サービス	地域密着型 サービス	施設介護サービス				サービス 受給者計
			介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設	介護療養型 医療施設	小計	
第1号 被保険者 (人)	62,121	20,898	5,895	5,707	430	12,032	82,920
第2号 被保険者 (人)	1,415	153	56	143	12	211	1,708
総数(人)	63,536	21,051	5,951	5,850	442	12,243	84,628

※居宅介護サービスとその他のサービスをともに利用している方がいることから、それぞれの計と合計は一致しない。

○介護保険料軽減の状況（帯広市独自軽減分）

人数（人）	軽減額（円）	軽減前の額（円）	軽減後の額（円）	軽減率（％）
313	4,828,400	12,768,450	7,940,050	37.82

・世帯一人当りの収入が、老齢福祉年金相当額以下

所得段階	基 準	人数（人）	保険料（円）	軽減額（円）	軽減後の額（円）
第1段階	生活保護受給者を除く、世帯一人当りの収入が老齢福祉年金相当額以下の場合（老齢福祉年金受給者含む）	79	29,540	14,770	14,770
第2段階	世帯一人当りの収入が老齢福祉年金相当額以下の場合	0	44,630	29,860	14,770
第3段階		0	49,230	34,460	14,770
第4段階		0	59,070	44,300	14,770
第5段階		0	65,640	50,870	14,770

・生活保護基準なみの世帯

所得段階	基 準	人数（人）	保険料（円）	軽減額（円）	軽減後の額（円）
第2段階	単身世帯で前年収入130万円以下の場合。ただし、世帯員が一人増えるごとに60万円を加算する。	194	44,630	15,090	29,540
第3段階		34	49,230	19,690	29,540
第4段階		6	59,070	29,530	29,540
第5段階		0	65,640	36,100	29,540

○介護給付等費用適正化事業

・介護支援専門員の職能団体にケアプラン点検事業を委託し、書類確認に基づく個別ヒアリング、点検により生じた課題を踏まえた研修会を実施し、ケアプラン作成の適正化を図った。

ケアプラン点検件数 60事業所 83件

ケアプラン作成研修会 開催数 1回 参加者数 110人

○第六期介護保険事業計画に基づく保険料改定

・介護給付費準備基金の計画的な繰入により、第六期（平成27～29年度）の保険料基準額の抑制を図った。

また、消費税率引き上げに伴う、社会保障の充実により、第1段階の保険料額の軽減を実施し、低所得者の負担の抑制を図った。

○潜在介護士等復職支援研修会

・子育て等により離職した介護の資格者を対象に復帰に向けた研修会等を実施し、介護人材の確保を図った。

受講者数 8人

【保健福祉部 介護保険課】

## (2) 生活保護制度の適正な運用

### ○生活保護の現況

保護区分	延人員 (人)	保護区分	延人員 (人)
生活扶助	54,875	生業扶助	1,592
住宅扶助	54,926	葬祭扶助	16
教育扶助	4,313	就労自立給付金	13
介護扶助	10,696	冬季薪炭費	0
医療扶助	54,024	施設事務費	546
出産扶助	1		
		月平均世帯数	3,833 世帯
		月平均人員	5,020 人
		月平均支出額	685,819 千円

### ○早期把握・自立支援事業

- 生活保護受給者の自立支援の充実、強化に向け、様々なプログラム事業を実施した。

#### 体験的就労型社会参加プログラム

週1回程度の農作業体験を通して、社会参加意欲、就労意欲の向上を図った。

参加者数 22人

#### 屋内作業体験プログラム

週1回～3回の屋内作業を通して、社会参加意欲、就労意欲の向上及び就労に必要な技能の習得を図った。

参加者数 11人

#### 就労準備型社会参加プログラム

週1回程度の農作業体験を通して、就労に対する不安感の払拭と自信の回復を図った。

参加者数 3人

#### 若年者訪問支援プログラム

生活保護受給世帯の概ね16歳～40歳までのひきこもり等の若年者を訪問し、社会的自立に向けた支援を行った。

支援者数 5人

### ○生活困窮者自立促進支援事業

- 生活困窮者の自立支援の充実、強化に向け、様々な事業を実施した。

#### 生活困窮者自立相談支援

自立相談事業所（自立相談支援センターふらっと）において、生活困窮者が抱える多様で複合的な課題に応じて、継続的かつ計画的な支援を行った。

相談件数 140件

#### 生活困窮者住居確保給付金の支給

離職等により経済的に困窮し、住居を喪失した市民又は住居を喪失するおそれのある市民に対し、家賃相当分の住居確保給付金を支給した。

支給世帯数 1世帯

支給月数 延3ヵ月

#### 生活困窮世帯の子どもに対する学習支援

生活困窮世帯の子どもに対する学習支援や居場所づくり、保護者への助言などを行った。

中学生学習支援プログラム 参加者数 14人

子ども健全育成プログラム 参加者数 11人

生活困窮世帯の高校生の中退防止を図るため、中学生学習支援プログラムの卒業生に対

し、定期的な連絡相談を行った。 支援者数 10人

生活困窮者就労準備支援事業

就労に必要な訓練を日常生活自立・社会生活自立段階から有期で行った。

参加者数 3人

【保健福祉部 保護課】

## 政策2-3 子どもたちが健やかに育つまちづくり

### 施策2-3-1 子育て支援の充実

#### (1) およこの健康支援

##### ○妊婦・乳幼児健康診査

###### ・妊婦健康診査

妊婦一般健康診査

延受診者数 16,115人

超音波検査

延受診者数 7,608人

###### ・乳幼児健康診査

区 分	5か月児	10か月児	1歳6か月児	3歳児
受診者数(人)	1,268	1,242	1,250	1,272

###### ・歯科保健事業

幼児歯科健診

延受診者数 7,134人

フッ素塗布

延受診者数 6,041人

##### ○母子保健相談指導

###### ・両親教室・育児教室事業

ほんわかファミリー教室

参加組数 260組

すくすく教室

参加組数 283組

###### ・母子保健サービス提供事業

母性相談室

利用者数 1,961人

母子訪問指導員による新生児、産婦訪問指導

実施件数 814件

##### 家庭訪問

区 分	妊産婦	新生児	乳 児	幼 児	その他
延訪問件数(件)	724	634	247	412	419

###### ・妊娠・出産サポート事業

産前産後サポート事業

参加者数 350人

産後ケア

延利用件数 25件

###### ・特定不妊治療費助成

助成件数 140件

###### ・不育症治療費助成

助成件数 1件

###### ・栄養食品支給(牛乳、粉ミルク)

延支給者数 89人

##### ○心の発達支援事業

###### ・すこやか親子教室

延参加組数 1,268組

##### ○性の相談事業

###### ・性の電話相談

延相談件数 401件

##### ○食育推進事業

- ・親子料理教室 参加組数 14組
- ・パパの料理教室 参加組数 9組

【こども未来部 子育て支援課】

## (2) 保育サービスの充実

### ○保育所整備

- ・保育所の老朽化した暖房ボイラー設備の整備を行った。

### ○公立保育所管理運営

- ・各保育所の修繕を行った。
- ・あやめ保育所の円滑な民間委託のために、派遣保育士の人件費に対する支援や施設整備を行った。
- ・施設数及び入所児童数の状況

施設区分	施設数(所)	定員(人)	月平均入所児童数(人)
認可保育所	10	960	870

### ○私立保育所(園)運営

- ・認可保育所に対して、保育士等の処遇改善に関する給付を行った。
- ・栄保育園の改築費の一部を支援した。
- ・施設数及び入所児童数の状況

施設区分	施設数(所)	定員(人)	月平均入所児童数(人)
認可保育所	16	1,610	1,795
小規模・事業所内保育施設	2	49	45

### ○へき地保育所運営

- ・各へき地保育所の修繕を行った。
- ・へき地保育所の認可保育所への移行に向けた取り組みを行った。
- ・施設数及び入所児童数の状況

施設区分	施設数(所)	定員(人)	月平均入所児童数(人)
へき地保育所	6	345	219

### ○認定こども園等施設運営

- ・施設型給付を受ける認定こども園及び幼稚園に給付を行った。

施設区分	施設数(園)	定員(人)	月平均入所児童数(人)
認定こども園	4	860	771
幼稚園	1	100	102

### ○児童保育センター整備

- ・各児童保育センターの修繕を行った。
- ・川西児童保育センターの拡張及び柏児童保育センター分室、光南児童保育センター分室、大空児童保育センターの整備を行った。

### ○児童保育センター管理

- ・児童保育センター支援員の処遇改善等に必要な補助を行った。
- ・施設数及び入所児童数の状況

施設区分	施設数(所)	月平均入所児童数(人)
児童保育センター	39	1,971
夜間児童保育センター	1	16

### ○延長保育事業

- ・緑ヶ丘保育所 外25所 日平均利用児童数 174人



○乳児保育事業				
・帯広保育所	外 2 2 所	月平均入所児童数	1 8 1 人	
○病後児保育事業				
・Chip S、ひなたぼっこ		延利用児童数	2 0 5 人	
○特別支援保育事業				
・特別支援児保育	緑ヶ丘保育所外 2 5 所	特別支援児童数	7 2 人	
		要支援児童数	1 3 1 人	
		合計	2 0 3 人	
○休日・一時保育事業				
・休日保育（すずらん保育所）		延利用児童数	1, 5 2 9 人	
・一時保育（すずらん保育所、豊成保育所、こでまり保育園）		延利用児童数	7, 8 8 1 人	
○広域入所事業				
		延利用児童数	7 人	
○子育て短期支援事業				
・子育て短期支援事業の実施（十勝学園）		延利用児童数	1 3 4 人	
○子育て支援				
・保育士等資質向上事業				
保育士研修会	3 回	延参加者数	9 5 0 人	
保育士向けゼミ	3 回	延参加者数	9 3 人	
保育実践交流会	2 回	延参加者数	7 4 人	
○食育推進事業（保育所）				
・行事食等の提供を行った。				
年 7 回	こどもの日、ひな祭り、クリスマス、ふるさと給食（4 回）			
・保護者に幼児期の食生活の重要性を理解してもらうため、食育講座を実施した。				
実施保育所	9 所	延参加者数	1 5 0 人	
○保育料の負担軽減				
・多子世帯及びひとり親世帯等の保育料について引き続き軽減を行った。				
・税制上寡婦控除が適用にならない、未婚の母子・父子家庭に対し、保育料について寡婦控除を適用した。				
対象者数	1 2 人			
・年収約 6 4 0 万円未満相当の世帯における、3 歳未満の第 2 子以降の保育料無償化を実施した。				
○保育士確保の取組				
・保育士の職場復帰を支援するセミナー及び保育施設合同説明会を開催した。				
参加者数	1 6 人			

【こども未来部 こども課】

### (3) 幼稚園教育の促進

#### ○幼稚園振興

- ・幼稚園・保育所連携促進事業

幼保小中連携推進委員会を設置し、エリア会議、児童交流等により、児童の発達に応じた適切な環境を整え、市全体の連携体制の推進を図った。

幼稚園・保育所合同研修会 1回 77人

- ・幼稚園教育環境整備支援事業

幼稚園の特色ある教育活動及び預かり保育に要する経費の一部を補助し、幼稚園教育の環境整備の充実に努めた。

対象園数 14園

特別支援教育に要する経費の一部を補助し、特別支援児の就園促進を図った。

対象園数 9園

幼稚園教員の資質向上のため、教員研修費を補助し、幼稚園教員の研修機会の充実に努めた。

対象園数 9園

#### ○幼稚園就園奨励

・父母の経済的負担を軽減し、幼児の就園促進を図るため、就園奨励費補助を実施し、幼稚園教育の充実に努めた。また就園奨励費については、国の制度見直しに伴い、補助額の拡充を行った。

就園奨励費支給者数 1,096人

【こども未来部 こども課】

### (4) 地域での子育て支援の充実

#### ○地域交流推進事業

- ・親子で保育参加事業 114回 148組 322人
- ・保育と給食体験事業 22回 31組 63人

#### ○子育て支援（のびのび子育て応援事業）

- ・あそびの広場事業 195回 1,263組 2,852人（公立9所分）
- ・こんにちは赤ちゃん訪問 564回
- ・サンデーファミリー事業 12回 211組 586人

【こども未来部 こども課】

#### ○子育て支援総合センター

- ・子育て支援総合センター設置 箇所数 1カ所
- ・ファミリーサポートセンター事業

安心して子育てできる環境を整えるため、市民相互による子育て支援の仕組みであるファミリーサポートセンター事業の会員を増やす取り組みを引き続き行った。

会員数 620人 援助活動件数 866件

- ・絵本との出会い事業

生後5か月児の乳児を持つ家庭に絵本を配布 配布児童数 1,267人

#### ○子育て支援センター

- ・地域子育て支援センター設置 箇所数 6カ所

○子育て応援事業所促進				
・子育て応援事業所登録制度		登録事業所数	269	事業所
○家庭教育学級				
・家庭教育学級	11	学級	128	人
○子ども発達支援				
・幼児ことばの教室		実通室児数	84	人
・発達支援センター		実通園児数	210	人
・肢体不自由機能訓練事業		参加組数	親子13	組
・軽度・中等度難聴児への補聴器購入費の助成		助成件数	3	件
・こども発達相談室				
発達相談		相談件数	480	件
2歳・3歳・4歳児相談の実施		相談件数	157	件
帯広市地域自立支援協議会こども生活支援会議		開催回数	7	回
				【こども未来部 子育て支援課】

### (5) 子育て家庭への支援

○児童手当				
・受給対象世帯数（2月定時払）			11,077	世帯
○児童扶養手当				
・受給対象者数			2,497	人（うち父子家庭145人）
○乳幼児等医療費給付				
・0歳児から小学校修了前までの乳幼児等の医療費負担を軽減するため、自己負担分の全部又は一部を助成した。				
対象者数			13,862	人（年度平均）
助成件数			164,168	件
○ひとり親家庭等医療費給付				
・対象者数			5,197	人
・助成件数			63,440	件
○助産施設入所措置援護				
・児童福祉法による助産施設において助産を行った。				
帯広協会病院、帯広厚生病院		措置件数	27	件
○母子家庭等日常生活支援事業				
・母子・父子家庭へ家庭生活支援員の派遣を行った。				
子育て支援	3	延日数	6	日
生活援助	2	延日数	15	日
		延時間数	41	時間
		延時間数	56.5	時間
○母子家庭等自立支援教育訓練給付				
・ひとり親家庭の親に、指定教育訓練講座受講費用の一部を助成した。				
介護職員初任者研修等	8			
○母子家庭等高等職業訓練促進給付				
・資格取得を促進するため、養成機関に修業するひとり親家庭の親に訓練促進給付金を支給し、修了後には修了支援給付金を支給した。				
支給者	8	修了支援給付金支給者	3	人

○母子家庭等就業・自立支援事業

- ・ひとり親家庭に対する各種の相談活動を行った。

母子・父子自立支援員、就業支援専門員 各1人配置 相談件数 383件

- ・母子家庭等就業・自立支援センター

北海道と共同でひとり親家庭の親の自立を支援するため就業相談を実施した。

相談件数 391件（うち帯広市分288件）

○未熟児養育医療給付

- ・医師が入院養育を必要と認めた未熟児について、指定養育医療機関にて必要な医療の給付を行った。

給付実人数 36人

【こども未来部 こども課】

○介護給付・地域生活支援事業（児童）

・ホームヘルプ	受給児童数	33人
・ショートステイ	受給児童数	46人
・児童通所支援	受給児童数	817人
・計画相談支援	受給児童数	431人
・移動支援	受給児童数	47人
・日中一時支援	受給児童数	359人
・訪問入浴	受給児童数	5人

○特別障害者手当等支給（児童）

・特別児童扶養手当 受給資格者数 491人

○子育て支援（児童虐待予防・防止対策推進事業）

・家庭児童相談室 相談件数 814件

【こども未来部 子育て支援課】

## 施策2-3-2 青少年の健全育成

### （1）青少年を育む環境の整備

○青少年健全育成

・子ども110番の家 設置件数 1,081件

○子どもの居場所づくり事業

- ・放課後子ども広場

小学校を核として、学校や児童保育センターと連携しながら、放課後や週休日などに、児童が異学年の児童や地域住民と交流する機会と場所を設け、地域の大人、NPO法人等がボランティアとして特別教室等を活用して、児童へ多様な体験活動を提供する居場所づくりを行った。

放課後子ども広場 26校 延参加児童数 22,413人

○青少年センター事業

- ・指導員及び指導協力員等による街頭指導や、相談員による青少年の悩み相談を実施し、非行防止や環境改善に努め、青少年の健全育成の助長を図った。

街頭指導・声かけ総数 466回 407人

相談指導 127回 36人

立入調査 165事業所

・若者自立支援

教育、健康、雇用などの機関団体から構成される、帯広市子ども・若者支援地域協議会を設置し、不安や困難を抱えた若者への支援や個別事案への対応策を協議した。

【こども未来部 青少年課】

## (2) 体験活動の促進

### ○体験活動促進

・地域子ども会リーダー宿泊研修会		参加者数	1 8 7 人
・ジュニアリーダー養成講座「あすかの会」		会員数	2 4 人
・ジュニアリーダー「あるふあの会」		会員数	4 3 人
・ジュニアリーダーコース		参加者数	2 人
・北海道地域子ども会リーダー研修会		参加者数	1 0 人
・子ども王国(プラザまつり)		参加者数	8 0 0 人
・十勝こども雪合戦		参加者数	2 8 7 人
・中学生からのメッセージ	1 4 校	参加者数	1 4 人
・大人の集い		参加者数	1, 1 3 2 人
・おびひろキッズタウン		参加者数	3 6 3 人
・若者向けまちづくり活動などの情報収集、提供			

【こども未来部 青少年課】

## (3) 体験活動施設の整備・利活用

### ○児童会館等の利活用

・子供たちの科学する心や創造性・社会性を育むため、日帰り・宿泊学習のほか発明クラブや自然体験クラブなどの事業を行うとともに、野草園・岩内自然の村の管理を行った。

施設の利用状況

施設名	利用者数(人)
児童会館	146,231
野草園	12,399
岩内自然の村	11,652

### ○実験実習・児童文化行事

#### ・科学文化関連事業

科学展示室入場者		3 1, 2 5 7 人
プラネタリウム入場者		1 3, 6 7 4 人
星の観察会	6 回	2 8 3 人
自然体験クラブ	5 回	8 2 人
親子科学実験教室	8 回	2 4 0 人
少年少女発明クラブ	1 9 回	2 7 4 人
親子おもしろ教室	1 0 回	5 6 9 人
中学生科学研究発表会	1 1 月 1 1 日	3 8 人
理科クラブ	1 0 回	1 6 9 人
科学相談		4 人
宿泊学習・日帰り理科学習	7 8 校	2, 8 8 6 人
宿泊研修	1 8 団体	7 5 7 人

子どもウィーク	4月30日、5月3日～5日	5,680人
冬まつり（氷まつり協賛行事）	2月4日	372人
わくわく教室	8月6日	926人
	1月7日	707人
	3月27日～28日	1,113人
人形劇公演	11回	376人
親子エンジョイ将棋	10回	321人
親子囲碁入門教室	12回	107人
もっくん教室	8回	211人
星空のコンサート	2回	130人
全十勝小中学生将棋大会	3月18日	82人
帯広児童劇団公演	11月25日～26日	991人
・国際協力事業		
JICA理科実験教育研修コースの実施	10月～12月	17人
・出前講座	小学校 8校	21クラス
	放課後・学童保育	9カ所
	保育所	22所
		1,927人
○社会教育施設連携アクションプログラム		
	（実施事業については、6-2-1-(1)学習活動の支援に記載）	
○野草園管理運営		
・野草園開園の集い	4月29日	335人
・野草園散策会（春・秋）	2回	265人
・「野草園の花」作品展	7月10日～14日	779人
○農業体験実習館管理運営		
・岩内自然の村関連事業（食育・工作体験）	8月11日、9月16日、10月8日	59人

【こども未来部 児童会館】

## 政策6-2 とともに学び地域のきずなを育むまちづくり

### 施策6-2-1 学習活動の推進

#### (1) 学習活動の支援

##### ○社会教育施設連携アクションプログラム

- ・「おびひろからわかる?!地球のようす展」

子ども向けプチ講演会「絵本にでてくる虫のおはなし」	44人
「小さな世界はワンダーランド Vol. 2」上映会	25人
スペシャルおはなし会（環境編）	50人
国立科学博物館巡回展 日本の生物多様性とその保全	
緑ヶ丘へGO!～野生生物の姿をゲットしよう～	16人
※下記「夏休みわくわく教室」を含む	
第58回科学技術映像祭 入選作品の放映	231人
※下記「夏休みわくわく教室」を含む	

・夕涼み生涯学習事業		
「絵の中のぼくの村」上映会		17人
よるの動物園		7,641人
・未来に伝えるあそび体験		
スペシャルおはなし会とむかし遊び体験		189人
動物園いきものジャンボカルタとり		10人
新聞紙deエコ凧作り		57人
折り紙ミニ凧をつくろう		65人
・アイヌ民族・文化		
アイヌ語で自然かんさつ		8人
アイヌ語で自然かんさつ展 in 図書館（展示）		
・その他		
調べてみよう！動物のこと		20人
食べる・たいせつフェスティバル（展示）		
・よりどりみどりがおかウィーク！		
夏休みわくわく教室		926人
夏の体験ミュージアム		901人
七夕おはなし会		44人
スペシャルガイド・目指せ横綱！動物紙ずもう・アニマルQ・		
ふわふわボールを作ろう！		214人
その他（美術館協力）		
・広報の共同化の推進		
4館連携パンフレットの作成・配布「散策マップ」		4,000部
【こども未来部 児童会館、生涯学習部 百年記念館・図書館・動物園】		

## 政策7-1 互いに尊重し思いやりのあるまちづくり

### 施策7-1-4 アイヌの人たちの誇りの尊重

#### (1) アイヌ民族の歴史・文化に関する理解の促進

##### ○アイヌ民族理解促進

・アイヌ生活文化展の開催などにより、アイヌ民族の歴史・文化に関する理解を促進するとともに、アイヌ施策推進計画に基づき、アイヌの人たちの施策を総合的に推進した。

##### ・アイヌ生活文化展開催状況

民具・手工芸品・パネルの展示、アイヌ文化体験コーナー、啓発資料の配布

7月29日～30日 とかちプラザ

10月1日 生活館

11月1日～11月15日 森の里小学校

1月17日～2月14日 とかち帯広空港

3月6日～3月9日 市庁舎市民ホール

○アイヌの伝統的生活空間（イオル）再生事業

- ・アイヌ文化の保存・伝承活動推進のため、その拠点となるアイヌの人たちの生活圏であったイオルの再生・整備事業を実施した。

【保健福祉部 社会課，生涯学習部 文化課】

**(2) 生活・教育環境の向上**

○アイヌ福祉推進

- ・生活相談や指導により、アイヌの人たちの生活の向上を図った。

相談件数 265件

相談内容 生活（57件） 健康（121件） 教育（5件） その他（82件）

- ・帯広アイヌ協会の活動を支援し、アイヌの人たちの自主的な活動を促進した。

○生活館管理運営

- ・アイヌの人たちの活動拠点である生活館の管理運営を通して、生活・文化の向上を図った。

生活館利用状況

延利用件数 1,326件（うちアイヌ延利用件数 263件）

延利用者数 19,406人（うちアイヌ延利用者数 3,193人）

主な利用内容 エテケカンパの会、アイヌ刺繍教室、帯広カムイトウウポポ保存会等

【保健福祉部 社会課】